



2017年度 第2四半期 決算説明資料

Sapporo Group Business Results Presentation
for the Six Months Ended June 30, 2017

2017年8月4日

URL <http://www.sapporoholdings.jp>

<u>1. 2017年第2四半期決算のポイント</u>	P3
<u>2. 2017年第2四半期 決算概況</u>	P4～P28
<u>Appendix : データ集・参考資料</u>	P29～P48

2017年第2四半期決算のポイント

- グループ全体として計画通りの進捗
- 年間の見通しも変更なし
- ブランド強化と経営基盤の変革を推進中
- 『食』と『グローバル』の成長へ向かって
 - ・ 米国アンカー社買収
 - ・ 北米/欧州向けシルバーカップの製造をベトナムへ移管
 - ・ 豆乳ヨーグルトリニューアル など

2017年第2四半期
 ハイライト
 First-Half 2017 Highlight

	16年2Q	17年2Q	増減 (額/率)	
売上高 (酒税込み)	2,489 億円	2,579億円	90億円	3.6%
売上高 (酒税抜き)	1,957 億円	2,036億円	78億円	4.0%
売上高海外比率 (酒税抜き)	21.9 %	22.0%	0.0%	-
営業利益	30 億円	30 億円	▲0億円	▲1.0%
営業利益 (のれん償却前)	49 億円	49 億円	▲0億円	▲0.9%
経常利益	26 億円	26 億円	0億円	1.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	4 億円	2 億円	▲2億円	▲52.3%
金融負債残高 ※Net	2,263 億円	2,211 億円	▲51億円	▲2.3%
D/Eレシオ ※Net	1.5 倍	1.3 倍	▲0.2	-
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却費)	159	164	5	3.5%

年初計画通りの進捗、年間見通しの変更なし
前年同期比では全事業増収、営業利益は前年並み



売上高
Sales
2,579

前年同期比
YoY Change
+90

✓ 全事業で増収、トップラインの成長が続く

営業利益
Operating income

30

前年同期比
YoY Change
▲0

✓ 物流費や人件費、販促費等のコストが増加

親会社株主に帰属する
当期純利益

Profit attributable to
owners of parent

2

前年同期比
YoY Change
▲2

- ✓ 3期連続で最終利益が黒字
- ✓ 減益要因は、前年度の組織再編に伴う法人税見積額の影響によるもの

セグメント別売上高
Net Sales by Segment

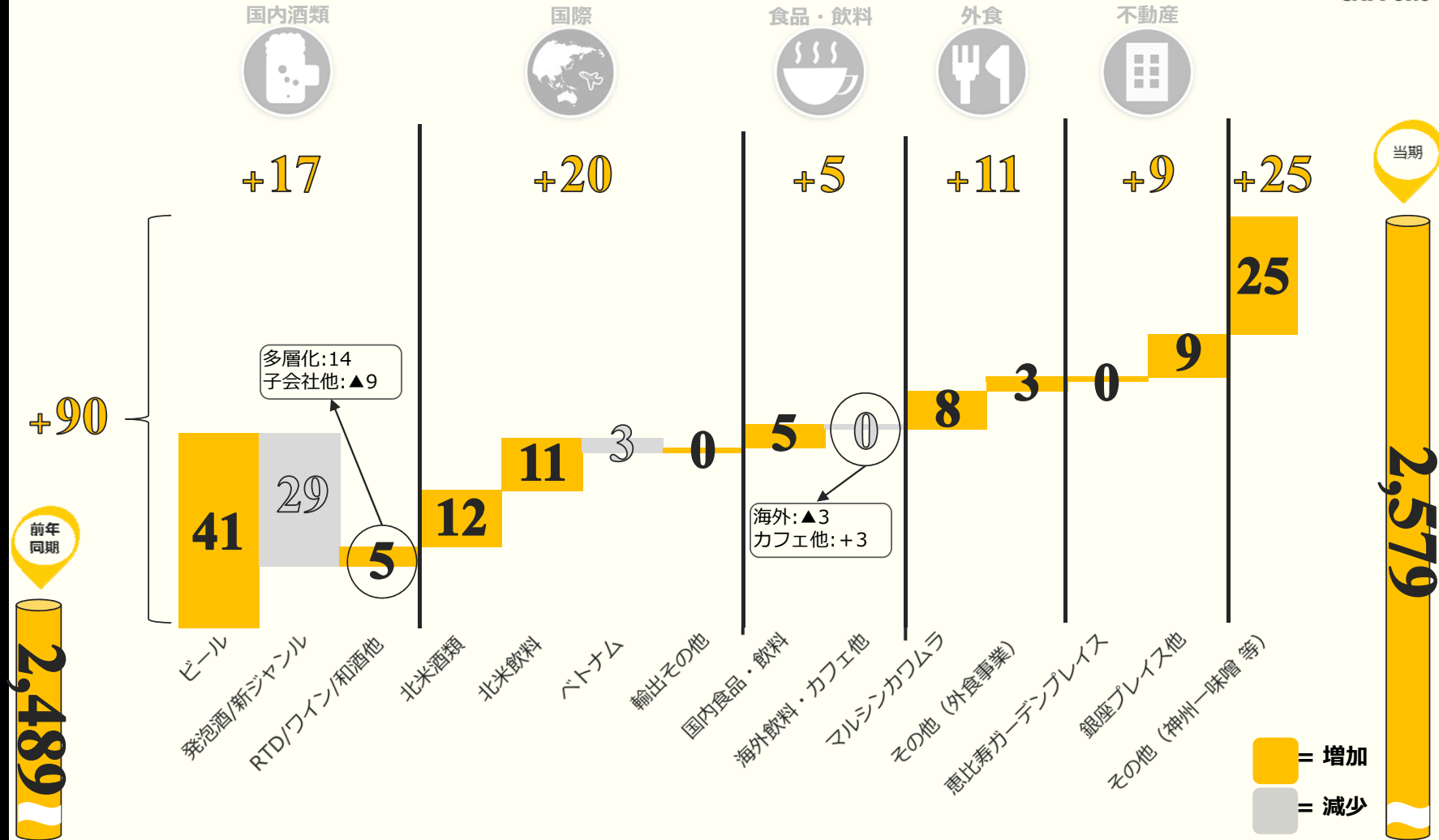
	16年2Q	17年2Q	前年同期比 (額/率)	
連結売上高	2,489	2,579	90	3.6%
国内酒類事業	1,257	1,275	17	1.4%
国際事業	316	337	20	6.6%
食品・飲料事業	649	654	5	0.8%
外食事業	126	138	11	9.2%
不動産事業	109	118	9	8.6%
その他	30	55	25	82.7%



国内のビールや多層化・食品飲料・北米が牽引 前年9月からの銀座プレイス、神州一味噌などは純増



売上高
増減の主な要因
Main Factors
Contributing to Changes
in Net Sales





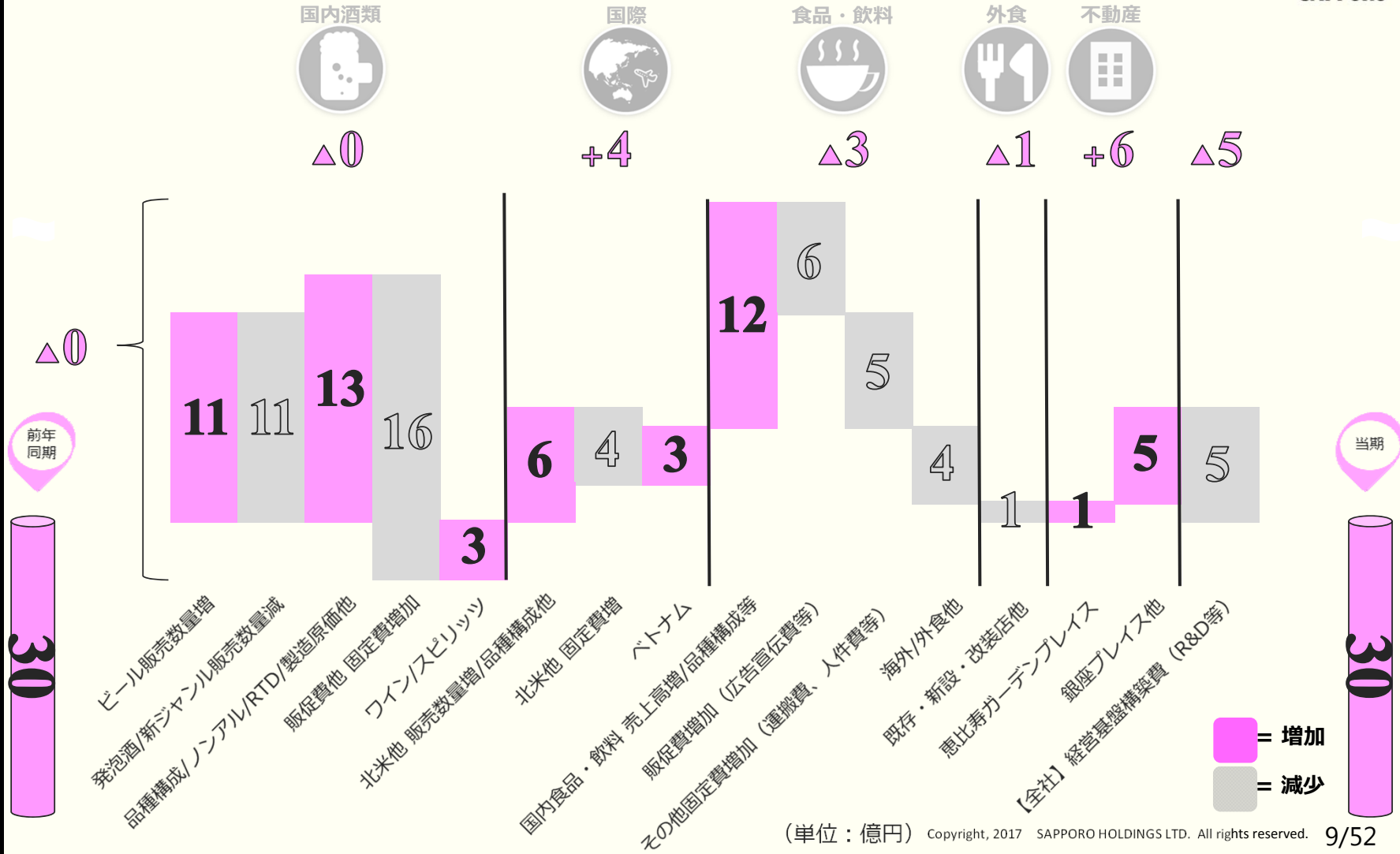
SAPPORO

	16年2Q	17年2Q	前年同期比
連結営業利益	30	30	▲0
国内酒類事業	14	14	▲0
国際事業	▲3	1	4
食品・飲料事業	▲8	▲11	▲3
外食事業	▲0	▲2	▲1
不動産事業	51	58	6
その他	▲0	▲0	▲0
全社	▲22	▲28	▲5
のれん償却費	19	19	0
国際事業	8	8	0
食品・飲料事業	10	10	0
のれん償却前営業利益	49	49	▲0

セグメント別営業利益
Operating Income by Segment

好調な事業による増益効果を、ブランド強化や 経営基盤構築などへの投資に充て、営業利益は前年並み

営業利益 増減の主な要因 Main Factors Contributing to Changes in Operating Income





国内酒類事業

Japanese Alcoholic Beverages

売上高 Sales **1,275** 前年同期比 YoY Change **+17**



営業利益 Operating income **14** 前年同期比 YoY Change **▲0**



(参考) ※推定

総需要 Total demand	ビール	99%
	発泡酒	98%
	新ジャンル	100%

ビールと多層化好調で限界利益率は上昇 ブランド投資で固定費が増加し、営業利益はフラット



Positive

- ✓ **ビールは黒ラベル、アビス、その他ビールと全て好調維持**
(黒ラベル 売上数量 前年同期比**103%**、アビス **104%**、ビール合計 **105%**)
- ✓ **商品ミックス改善が進む**
(ビール類におけるビールの構成比 前年同期59%⇒今期**62%** 品種構成改善により+**2**億円)
- ✓ **ワイン、洋酒、和酒、RTDいずれも前年同期を上回る売上**
(ワイン事業 売上高 前年同期比**103%**、スピリッツ事業**111%**)

Negative

- ✓ **発泡酒・新ジャンルカテゴリーは低トレンド**
(麦とホップブランド 前年同期比**96%** 極ゼロブランド **75%**)
- ✓ **店頭価格の上昇により、ビール類の需要が減退**
→高価格帯にも徐々に影響が出てきており、下期に向け需要喚起が必要

※Appendix P30~P36を参照



今後に向けて

◎ 二大ブランドへ更に注力した戦略を展開

- ✓ 黒ラベルは若年層への間口拡大が顕著、取扱い店舗も拡大
- ✓ エビスの「華みやび」購入者は、9割近くがエビスブランド以外から流入
- ✓ 二大ブランドの成長余地は大きく、最盛期に向けてブランド接点を拡大する (Appendix 36ページ参照)
- ✓ 麦とホップ、極ゼロは限られたリソース内で下降トレンドを下支えしていく



◎ 第2の柱に向けたワイン事業強化への打ち手

- ✓ 安曇野池田ヴィンヤードにAI（人工知能）導入、各種データを活用して体系化された栽培技術を確認する事で、さらなるぶどうの品質向上と栽培技術のスピーディーな伝承を目指す
(http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021664/index.html)
- ✓ 順調なラグジュアリー4を引き続き強化

※ラグジュアリー4：特に注力するファインワイン4ブランドのこと
（タンジェ、ペンフォールズ、マルケス・デ・リスカル、グランポレール）



◎ 好調なRTDで攻勢をかける

- ✓ 西日本エリア限定で販売していた「愛のスコールホワイトサワー」が、発売3ヶ月で年間販売目標（13万6000ケース）を達成
- ✓ 2017年9月5日より全国発売
(http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021650/index.html)



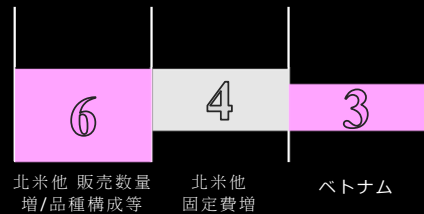


国際事業 International

売上高 Sales **337** 前年同期比 YoY Change **+20**



営業利益 Operating income **1** 前年同期比 YoY Change **+4**



(参考) ※推定

総需要 Total demand : カダビール 98%程度
アメリカ(〃) 98%程度

北米は好調維持、ベトナムは改革を進める



Positive

- ✓ 北米のビール市場は停滞も、スリーマン社、USA社は共に成長
(スリーマン社 売上数量 前年同期比**101%**、サッポロUSA社 サッポロブランド **110%**)
- ✓ CPFは引き続きフードサービス、Co-Packが好調
- ✓ 韓国・台湾の輸出も伸長し、収益に貢献

Negative

- ✓ 第1Q同様、ベトナムは販促費抑制による影響で売上減少
⇒様々な構造改革を推進中であり、その一環として北米/欧州向けシルバーカップの製造をベトナムへ移管することで、稼働率向上、採算改善を目指す
(詳細は14ページ参照)
- ✓ SSCは、米国におけるオレンジジュースの摂取量低下や、フロリダ産オレンジの収穫量減少など、厳しい経営環境により業績は低迷

※CPF : Country Pure Foods
SSC : Silver Springs Citrus

※Appendix P37~P38を参照

(単位：億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 12/52



今後に向けて

◎ SLEEMAN社 パートナービジネスを拡大

- ✓ SLEEMAN社は成長戦略の一つに「パートナービジネスの拡大」を標榜
- ✓ DIAGEO社とは長年に渡り信頼関係を築いており、QC州（ケベック州）においては、15年以上営業、物流面でパートナー契約を継続、収益へ貢献（直近の2年で売上数量は30%増加）
- ✓ 2017年4月より、Carlsberg Canada社とパートナー契約締結 同社の商品取り扱いを開始（QC州）



◎ 北米飲料2社のシナジー発揮へ

- ✓ 製造や購買など様々なシナジー創出が可能
- ✓ 2018年のSSC社、CPF社の統合を目指す



◎ CPF社にて「SideKicks」自社製造開始

- ✓ 昨年買収した米国リッジフィールズ社の「Side Kicks」（シャーベット）は、CPF社の販売網を活かし順調に売上が拡大
- ✓ 自社工場を持たず、全て委託での製造であったが、好調な業績を背景に自社製造開始

※CPF : Country Pure Foods
SSC : Silver Springs Citrus





今後に向けて

◎ グローバルでのサプライチェーン最適化を推進

- ✓ SLEEMAN社Guelph工場で製造していた通称シルバーカップを、ベトナムでの製造へ移管
- ✓ 移管によりSLEEMAN社において製造余力が生じるため、City Brewing社へ製造委託をしていた製品をSLEEMAN社で内製化（一部製品はCity Brewing社へ委託継続）
- ✓ 物流費は増加も、ベトナムでの稼働率向上、SLEEMAN社での一部内製化により、国際事業全体での採算改善を図る





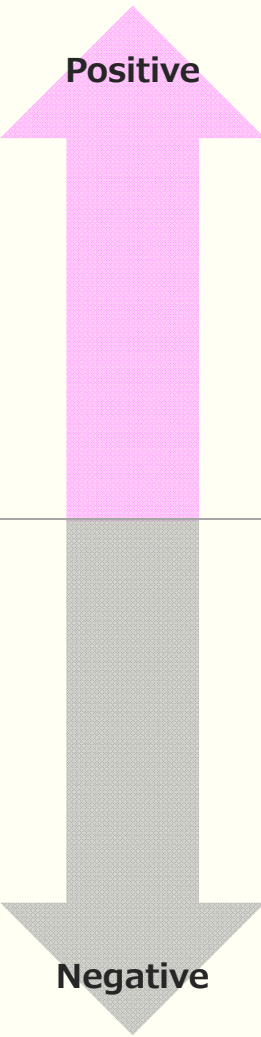
◎ 米国アンカー・ブリューイング・カンパニー社の全持分を取得

- ✓ 同社は有力ブランド「アンカースチームビール」を有する米国のビールメーカー
- ✓ 本契約締結のため新たに米国に設立する子会社を通じて、アンカー社の親会社であるアンカー・ブリュワーズ&ディスティラーズ社（以下ABD社）と持分譲渡契約を締結し、ABD社から全持分の譲渡を受け、アンカー社を傘下に収める
- ✓ 長期経営ビジョン「SPEED150」において、「グローバル展開の推進」を掲げており、特に30年以上アジアビールNo.1売上を誇る米国においては、SAPPOROブランドの更なる伸張に加え、新たなブランド獲得によるビール事業の拡大を検討していた
- ✓ 当社が持つ米国ビール事業の基盤に、アンカー社の強いブランド力とネットワークが加わることで、米国での事業成長スピードを加速させる

社名	Anchor Brewing Company, LLC（ビール製造・販売）
所在地	1705 Mariposa Street, San Francisco, California, USA
設立	1896年
代表者	CEO Matt Davenport
従業員数	160名 2016年12月現在
生産拠点	1拠点（カリフォルニア州 サンフランシスコ）
販売数量	約175万ケース（355mlx24本換算）（2016年）
売上高	約33百万米ドル（約37億円）（2016年12月期）

※（注1）アンカー社は有限責任会社のため、株式ではなく「持分」の取得となる

注力分野は好調も、海外の環境変化に懸念



- ✓ **レモン関連商品は高い成長を続ける**
(レモン飲料 売上数量 前年同期比**114%**、レモン食品 **108%**)
- ✓ **旅茶列島シリーズのブランド力向上、茶系飲料が躍進**
(茶系飲料 売上数量 前年同期比**114%**)
- ✓ **冷製缶スープで夏場に向けてテコ入れ、スープ類は好調に推移**
(スープ類 売上数量 前年同期比**108%**)
- ✓ **アセプティックラインのコスト改善効果で**3億円**** (年間**5億円**の見込み)
- ✓ **缶コーヒーの市場縮小に伴い、コーヒー飲料の売上は前期割れが続く**
- ✓ **非注力分野の水（ミネラルウォーター）は売上減少**
→注力分野（レモン、茶系飲料等）の成長でカバーしていく
- ✓ **シンガポールの市況悪化（外国人労働者が減少→生活品の需要が減退）**
→シンガポール経済の状況を注視

※Appendix P39~P43を参照

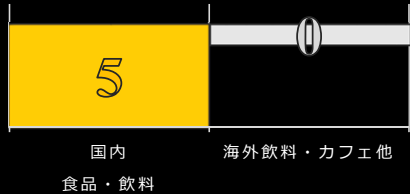
※総需要：飲料総研、インテージSRIレモン食品市場（自社定義）
 インスタントスープ市場SM、CVS業態計 2017年1~6月 累計販売金額前年比 (単位：億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 16/52



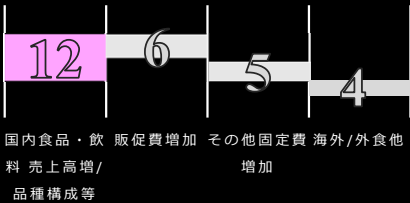
食品・飲料事業

Food & Soft Drinks

売上高 Sales **654** 前年同期比 YoY Change **+5**



営業利益 Operating income **▲11** 前年同期比 YoY Change **▲3**



(参考) ※推定

総需要 Total demand : 国内飲料 **101%**
 レモン食品 **101%**
 インスタントスープ **104%**



◎ 好調なレモン、茶系飲料、スープへ集中投資

- ✓ トップシェアである冷製缶スープをフックに、夏場での需要を喚起し市場拡大を図る
- ✓ 国産希少素材を使用した「旅茶列島」シリーズで、茶系飲料の展開を進める
- ✓ 2013年に広島県と「瀬戸内 広島レモン」に関する協定を結び、16年には「大長レモン」等に関して広島県豊田郡大崎上島町と協定を締結
17年4月には広島県呉市と「呉産レモン」の振興及び地域の活性化を目的に協定を締結
⇒レモン農家・地域とのパートナーシップを強化、トータルレモンカンパニーを目指す

(https://www.pokkasapporo-fb.jp/company/news/release/170412_01.html)

◎ 「豆乳で作ったヨーグルト」リニューアル

- ✓ 豆乳ヨーグルト市場ではシェア7割を誇るが、まだ市場規模が小さく、成長余地は大きい
- ✓ 発売20周年を迎えたトクホのヨーグルトをリニューアルし、リーダーとして市場を作り上げていく (https://www.pokkasapporo-fb.jp/company/news/release/170615_01.html)

◎ インドネシア、ミャンマーでの商業生産開始

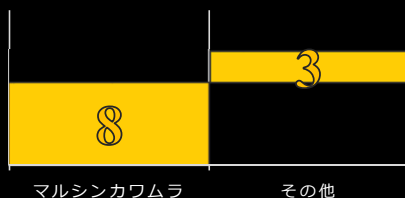
- ✓ 成長する東南アジアの飲料市場において、現地生産モデルにより競争力を強化
(Appendix 43ページ参照)





外食事業 Restaurants

売上高 Sales **138** 前年同期比 YoY Change **+11**



営業利益 Operating income **▲2** 前年同期比 YoY Change **▲1**



増収基調継続も、計画に対してやや弱含み



Positive

- ✓ サッポロライオン単体の売上は引き続き堅調に推移
(既存店売上高 前年同期比**101%**)
- ✓ マルシンカワムラ社が売上に寄与
(1~6月の累計売上高は約**10**億円→16年6月より連結のため、1~5月分の売上高は純増)
- ✓ 第1Qにオープンした広島、新横浜のエビスバーが絶好調

Negative

- ✓ 原価率はメニューコントロールで上期計画並みも、今後は懸念材料
- ✓ 採用難の状況は変わらず、人件費が増加
- ✓ ライオン銀座七丁目店、羽田空港店が改装により休業
(銀座七丁目店は1月10日~2月28日まで、羽田空港店は4月1日~7月2日まで休業による減収影響)
- ✓ シンガポールでは売上低迷

※Appendix P44を参照



今後に向けて

◎ 基幹店や好調なエビスバー業態で売上を維持

◎ コスト削減の取り組み

- ✓ コスト増の圧力が増す市場環境において、原価コントロールや諸経費の圧縮など、可能な限りの取り組みを行い、影響を小さくしていく

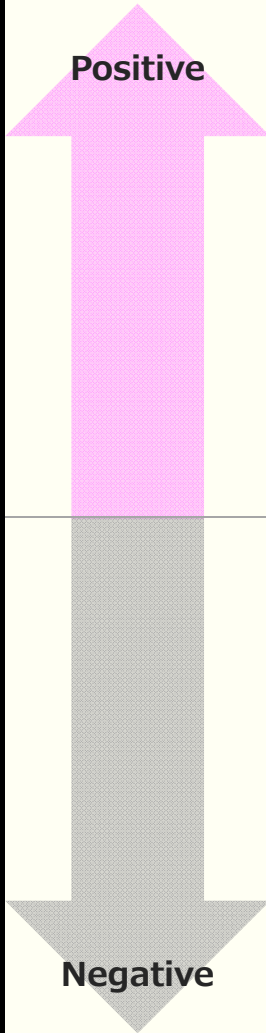
◎ エビスバー・グランポレールバーでブランド発信

- ✓ 今年度の2月～3月に開業したYEBISU BAR 広島店、新横浜店は計画を大きく上回る売上
- ✓ グループブランドのショールームとして、体験の場を提供



SAPPORO

主力物件の安定稼働で収益貢献



- ✓ 恵比寿ガーデンプレイス（YGP）の稼働率は安定
(1~6月累計 オフィス稼働率98%)
- ✓ 昨年9月開業のGINZA PLACE（銀座プレイス）が収益に寄与
- ✓ サッポロファクトリーを中心とした札幌の物件も増益

- ✓ 特筆すべき点なし

※Appendix P45~P47を参照

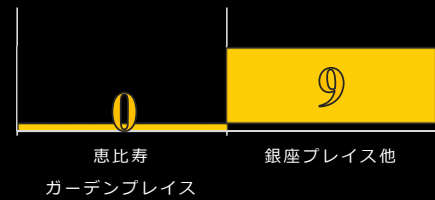
(単位：億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 20/52



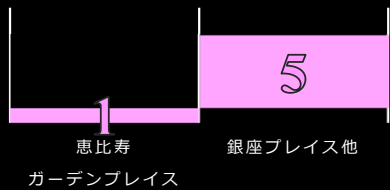
不動産事業

Real Estate

売上高 Sales **118** 前年同期比 YoY Change **+9**



営業利益 Operating income **58** 前年同期比 YoY Change **+6**





今後に向けて

恵比寿ガーデンプレイス

サッポロファクトリー

◎ 主力物件の安定稼働/まちづくりの推進

- ✓ 恵比寿ガーデンプレイス (YGP)、銀座プレイス等の主力物件は安定稼働を維持
- ✓ YGPには、地球環境に配慮した「サッポロ広場」がオープン (4月)
→ 都会の中で自然を感じる場所として、地域コミュニティ創出の拠点となることを目指す
- ✓ 展望レストラン街39階は、8月26日のオープンに向け改修工事を推進

◎ TDY札幌コラボレーションショールームの竣工

- ✓ 札幌市中央区にある「サッポロファクトリー」の隣地にて開発
- ✓ 2017年5月15日竣工、7月29日開業 (Appendix 46ページ参照)

GINZA PLACE

SAKAE PLACE

グループ会社2社の連結期間差異要因あり 為替の影響は軽微



<決算特殊要因（前年同期比）>

（－：軽微）

事業セグメント	内容	売上高影響	営業利益影響
外食事業	（株）マルシンカワムラ 2016年6月連結開始	約8億円	-
その他	神州一味噌（株） 2016年10月連結開始	約27億円	-

決算特殊要因

Special factors
in the business results

<為替の影響（為替換算による影響）>

（－：軽微）

	16年2Q	17年2Q
US \$	¥111.74	¥112.34
EUR	¥124.58	¥121.66
CAN \$	¥83.90	¥84.24
SG\$	¥80.89	¥80.01

	売上高影響	営業利益影響
国内酒類事業	-	-
国際事業	-	-
食品・飲料事業	-	-

営業外損益、特別損益に重要な差異要因なし

	16年2Q	17年2Q	増減	増減要因
営業利益	30	30	▲0	-
金融収支	▲2	▲1	1	-
その他の営業外損益	▲2	▲2	▲0	-
経常利益	26	26	0	-
固定資産売却益	0	2	1	-
その他特別利益	0	0	0	-
固定資産売却除却損	▲6	▲4	2	-
減損損失	▲1	▲2	▲1	-
その他特別損失	▲2	▲3	▲1	-
税引前利益	17	19	2	-
法人税等・非支配株主損益	▲12	▲17	▲4	前年同期：組織再編等の特殊要因あり
親会社株主に帰属する 当期純利益	4	2	▲2	-

特別損益等の概要

Changes in Extra Ordinary
Gains and Losses



SAPPORO

資産合計は前期末対比で203億円の減少

<16年期末との主な差異要因>

■ 現預金

■ 売上債権

→季節要因・銀行休業日の影響等

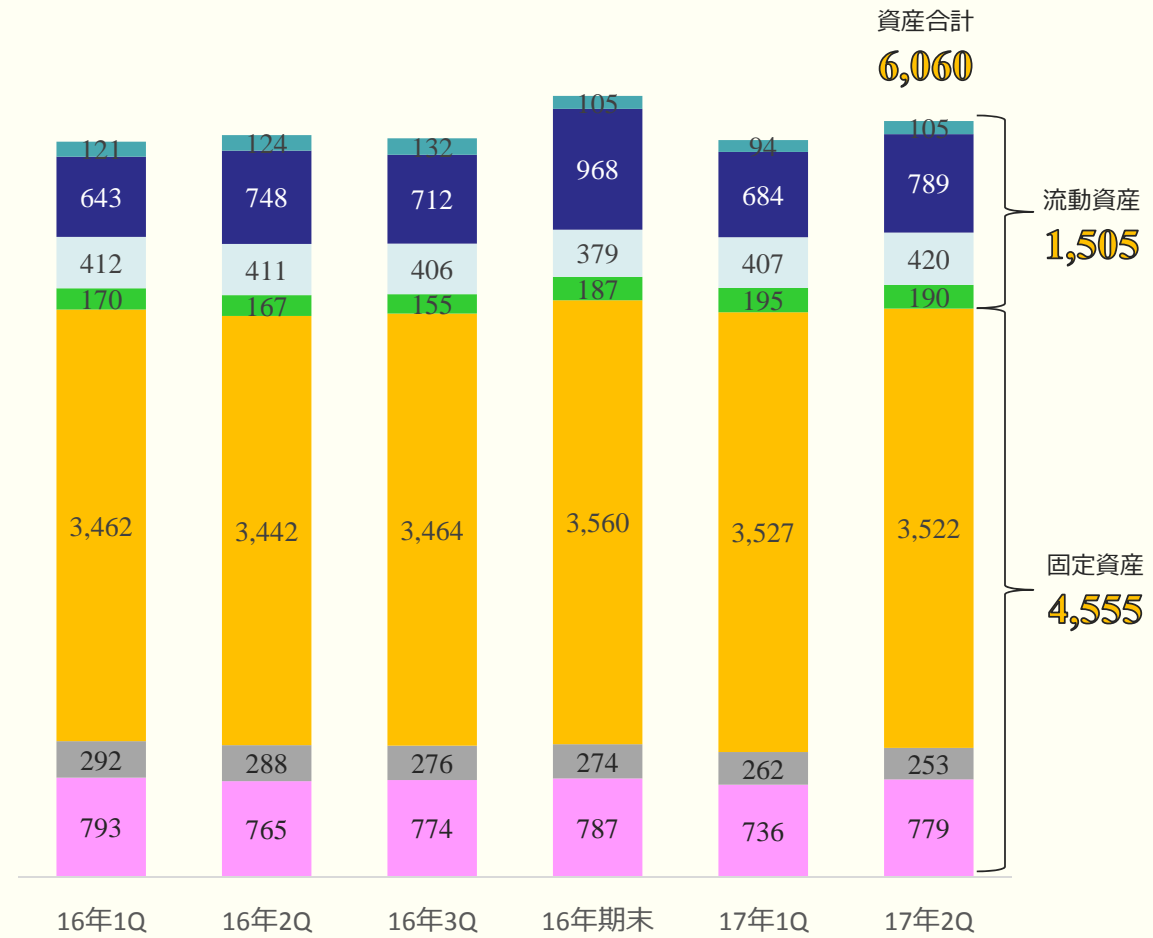
■ 棚卸資産

■ 流動資産その他

■ 固定資産

■ のれん

■ 投資等



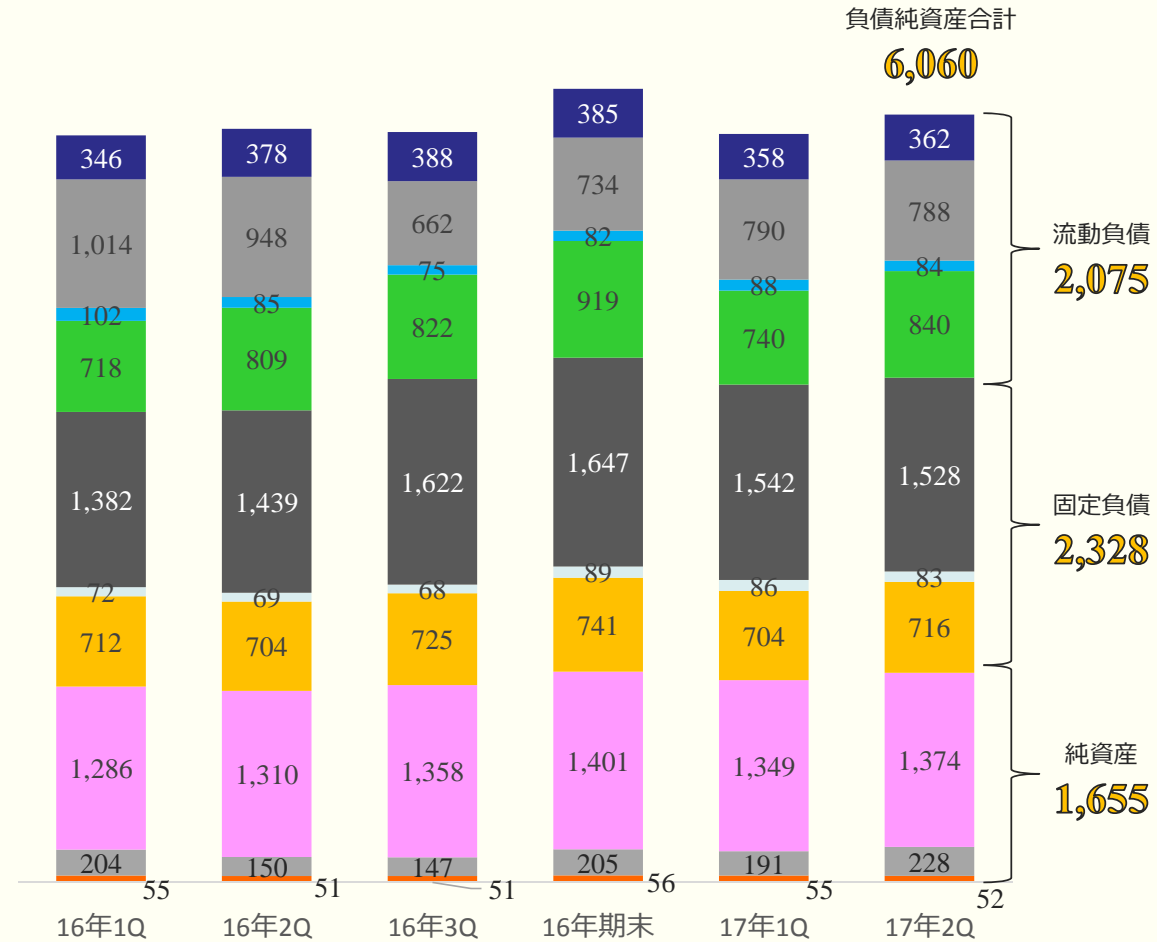
貸借対照表の状況

Changes in Balance sheets

負債合計は前期末対比で195億円の減少 純資産合計は7億円の減少

<16年期末との主な差異要因>

- 仕入債務
- 短期金融負債
- 預り金
- 流動負債その他
→未払酒税の減少
- 長期金融負債
→社債の1年内償還予定社債への振替
- 退職給付に係る負債
- 固定負債その他
- 株主資本
→配当金支払
- その他の包括利益累計額
- 非支配株主持分



貸借対照表の状況

Changes in Balance sheets

金融負債残高
Balance of Net debt **2,211** 億円

(前期末差異) ▲ **63** 億円

(前年同期差異) ▲ **51** 億円

D/Eレシオ
D/E ratio **1.3** 倍



支払ベースの投資額は119億円

＜連結キャッシュフロー（CF）計算書＞

	16年2Q	17年2Q	増減	増減率
営業活動によるCF	148	164	16	11.2%
投資活動によるCF	▲140	▲60	80	-
フリーCF	7	104	97	1269.8%
財務活動によるCF	13	▲105	▲118	-

①＜設備投資＞連結合計で約**87**億円
 （有形固定資産・無形固定資産）

＜主な内訳＞

- ・『酒』『食』『飲』関連：約53億円
 （那須工場ワンウェイ瓶対応工事等）
- ・不動産関連：約20億円
 （YGPバリューアップ等）
- ・SGM社 グループインフラ最適化等：約11億円
 ※SGM社：サッポログループマネジメント株式会社

②＜リース料＞連結合計で約**15**億円

③＜その他投資＞連結合計で約**15**億円
 （長期前払費用・子会社株式・投資有価証券 等）

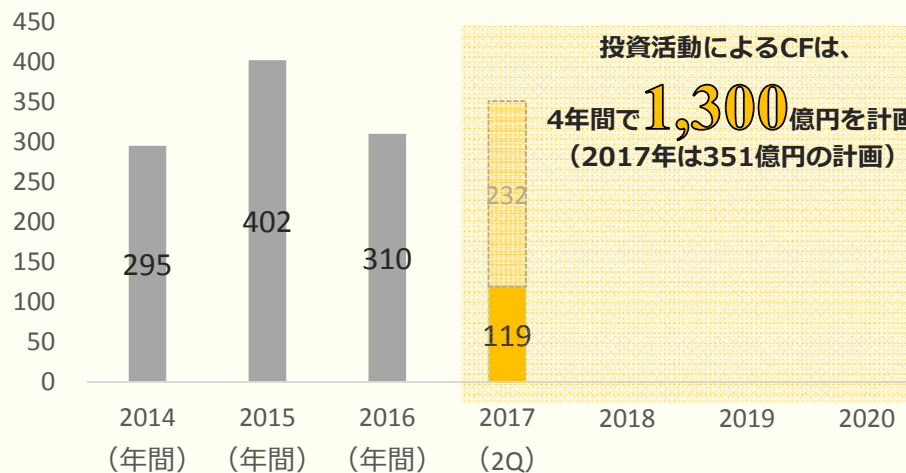
＜主な内訳＞

- ・長期前払費用（国内酒類/食品・飲料）約12億円

①+②+③＜2017年第2Q 投資実績 合計＞
 （支払ベース/経常設備投資・リース料含む）

約**119**億円

＜投資金額 推移（支払ベース）＞



グループ経営基盤 の变革

Transformation of the Group
management platform

グループ経営基盤の变革に向けた取組みを推進



R & D

- ・ 第1Qで「おいしさ技術研究所」を新設
- ・ 「食」の価値創造に向けた取組みを進める
- ・ 広島県大崎上島町にてレモンに関する健康調査研究開始



人事・人財

- ・ 働き方改革の新制度を試験的に運用開始
(①インターバル制度、②チーム(ペア)制度、③テレワーク、④時間有給休暇、⑤スーパーフレックス)
- ・ グローバル人財を含む多様性ある人財の育成、採用を推進
(マネージャー向けグローバル研修、語学学習支援、オンリーワン採用、国際ボランティアへの人財派遣(JICA)等)

財務

- ・ 政策保有株式の見直しに向けた具体策を第1Qで策定
- ・ 策定した内容に基づき第2Qから着手

その他

- ・ AI(人工知能)技術を用いてグループ全体の業務効率化を推進
→実証実験では、社内の問い合わせ対応業務が45%削減
(http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020382/index.html)

R & D

国内初「第36回ヨーロッパ醸造大会」で 3大会連続の最高賞を受賞



- ✓ 日本生まれのホップ品種「ソラチエース」の香りに関する研究について「第36回European Brewery Convention（ヨーロッパ醸造学会・以下「EBC」）大会・2017年5月14日～18日・スロベニア）」にて発表し、ポスター部門の最高賞であるBest Poster賞を受賞
http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021634/index.html
- ✓ 当大会は2年に一度開催される、ビール醸造技術に関する世界的に権威のある学会のひとつ
- ✓ ヨーロッパのみならず、日本をはじめ世界からビール醸造の研究者が集まり、口頭部門52題、ポスター部門102題の発表が行われ、各部門で最も優秀な発表各1件に対し、Best Paper賞、Best Poster賞の最高賞が選ばれる
- ✓ 当社は国内で同賞の受賞歴がある唯一のビール会社であり、今回の受賞により、3大会連続の最高賞受賞



2017年 Best Poster賞 表彰式

グループ経営基盤 の变革

Transformation of the Group
management platform

Appendix : 参考資料

参考資料 Appendix

(単位：万函/大瓶換算)

国内酒類	16年2Q	17年2Q	前年 同期比
①ビール計	1,323	1,391	105%
サッポロ生ビール黒ラベル計	764	785	103%
エビス計	401	418	104%
②発泡酒計	203	164	81%
③新ジャンル計	730	686	94%
ビール・発泡酒・新ジャンル計 (①+②+③)	2,256	2,241	99%
ノンアルコールビールテイスト飲料	37	34	91%

(単位：億円)

国内酒類	16年2Q	17年2Q	前年 同期比
ワイン計	60	61	103%
国産ワイン	24	24	101%
輸入ワイン	36	37	103%
スピリッツ計 (RTD・洋酒・焼酎)	131	145	111%

(単位：万函/大瓶換算)

海外ビール	16年2Q	17年2Q	前年 同期比
スリーマン社 (※1)	606	615	101%
サッポロブランド	272	292	108%



(単位：万函)

飲料水 <small>(ポッカサッポロフード&ビバレッジ)</small>	16年2Q	17年2Q	前年 同期比
飲料水 (※2)	2,138	2,129	100%

(単位：億円)

売上金額 (酒税込み)	16年2Q	17年2Q	増減
ビール	721	762	41
発泡酒	77	62	▲14
新ジャンル	241	226	▲14
合計	1,039	1,052	12

(単位：億円)

売上金額 (酒税抜き)	16年2Q	17年2Q	増減
ビール	352	377	24
発泡酒	43	34	▲8
新ジャンル	167	157	▲10
合計	563	569	6

※1：サッポロブランドを除く。
※2：国内売上のみ。(豆乳除く)

参考資料

Appendix



【ビール】 (売上数量)

- ✓ 前年同期比**105%** (総需要99%)
- ✓ 「黒ラベル」 : ブランド計 前年同期比**103%**
(缶 : ブランド計 前年同期比**114%**)
- ✓ 「アビス」 : ブランド計 前年同期比**104%**

【発泡酒・新ジャンル】 (売上数量)

- ✓ 前年同期比**91%** (総需要99%)
- ✓ 「麦とホップ」 : ブランド計 前年同期比**96%**
- ✓ 「極ゼロ」 : ブランド計 前年同期比**75%**

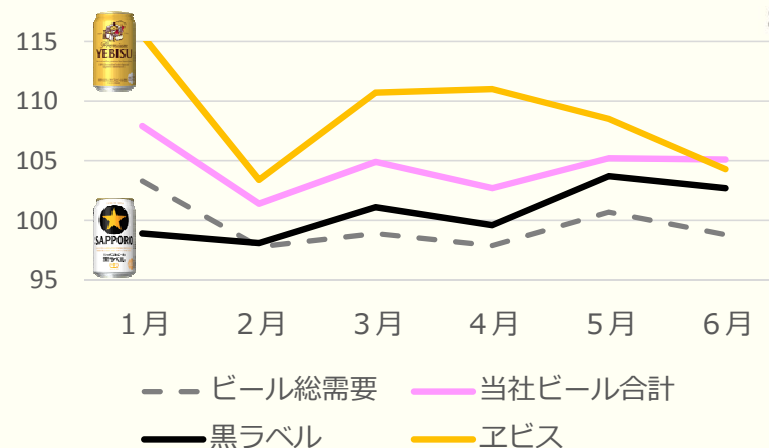
【ワイン・スピリッツ等】 (売上金額)

- ✓ ワイン事業 : 前年同期比**103%**
- ✓ RTD事業 : 前年同期比**133%**
- ✓ 洋酒事業 : 前年同期比**114%**
- ✓ 和酒事業 : 前年同期比**103%**

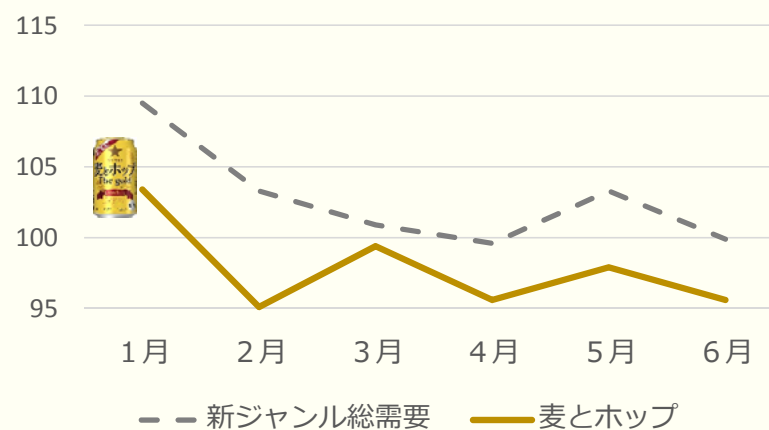


SAPPORO

<黒ラベル・アビス 売上数量 前年同期比 推移>



<麦とホップ 売上数量 前年同期比 推移>



(1~6月累計)

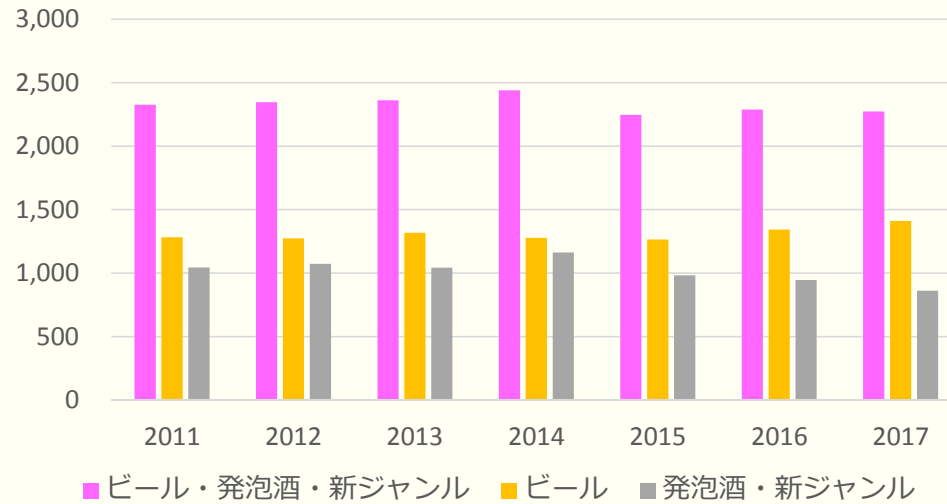
Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved.

参考資料

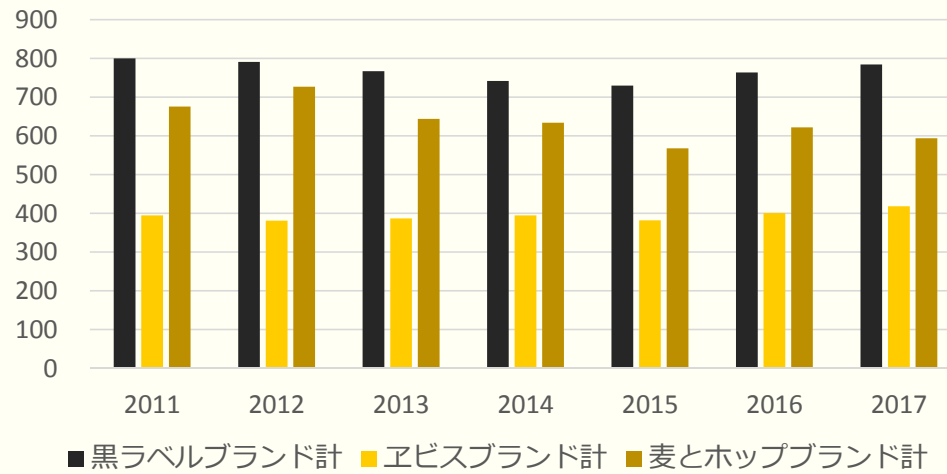
Appendix



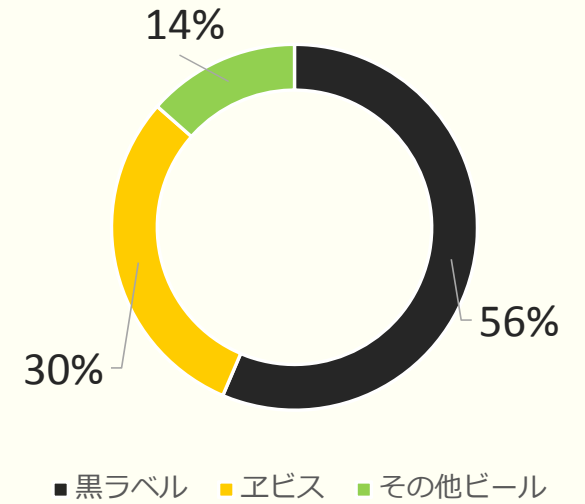
<ビール類及びビールカテゴリ 売上数量（課税出荷）推移>



<基幹3ブランド 売上数量（販売数量）推移>



<ビールカテゴリラインナップ 構成比>

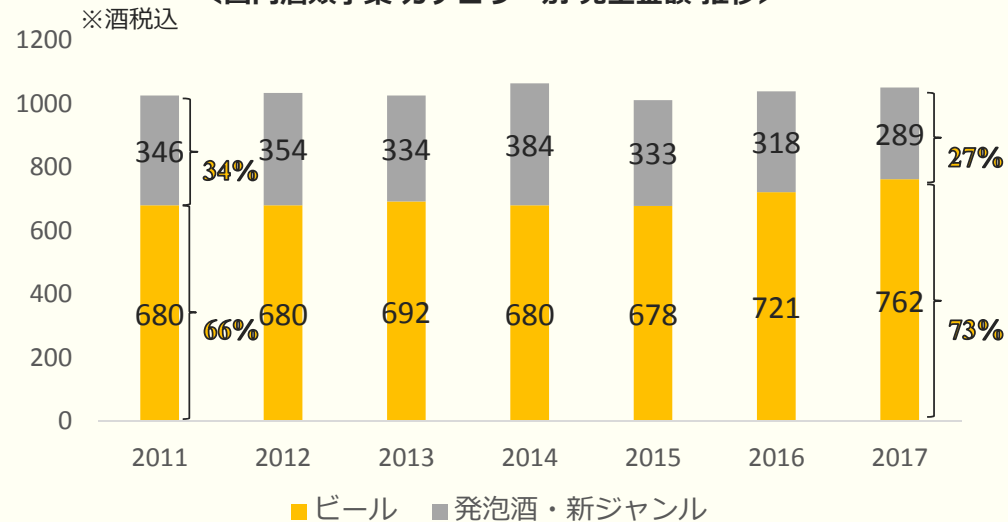


参考資料

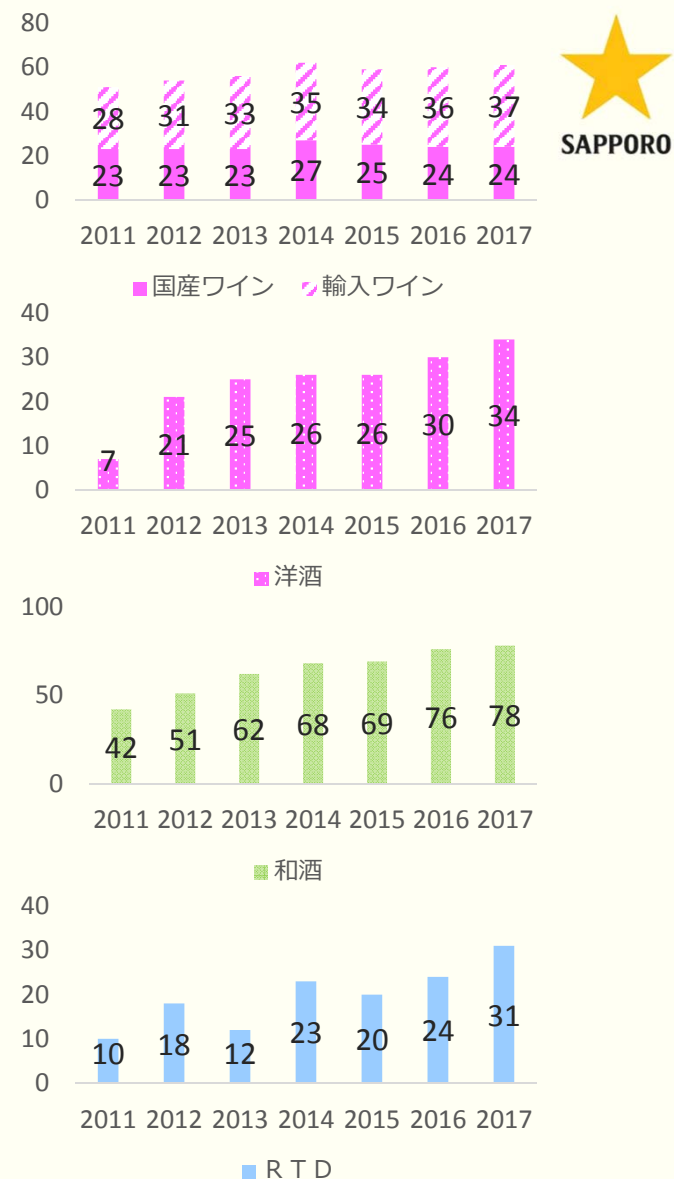
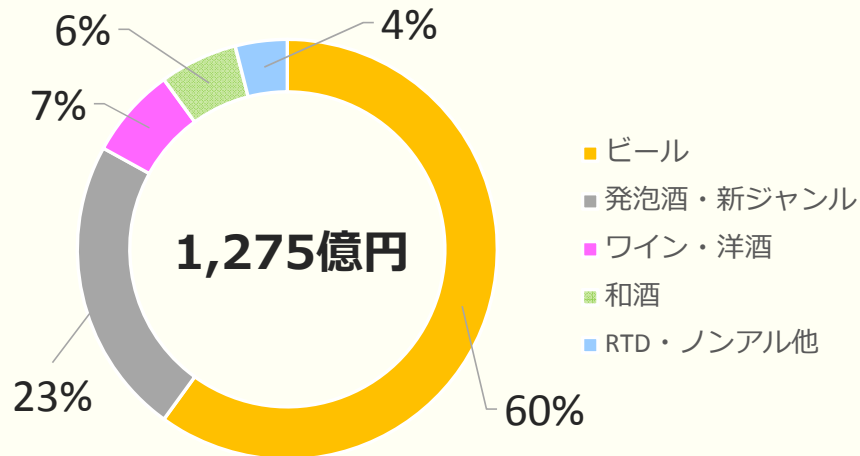
Appendix



<国内酒類事業 カテゴリ別 売上金額 推移>



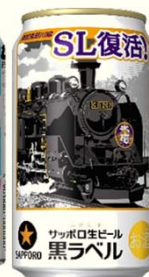
<国内酒類事業 カテゴリ別 売上金額構成比>



<2017年4月~6月 主な発売商品>



サッポロ生ビール黒ラベル
エクストラブリュー (数量限定)



黒ラベルブランド
その他地域限定ラベルなど



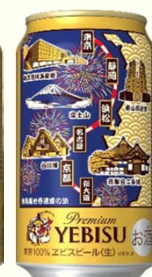
サッポロラガービール
(数量限定)



SAPPORO

参考資料

Appendix



エビスブランド
地域限定ラベルなど



エビスビール限定ギフト
<富士三十六景 駿河薩夕之海上>



サッポロクラシック
夏の爽快 (北海道限定)



静岡麦酒
(静岡県限定)



極ZERO
「飲みごろお知らせ! 極キン! 缶」



麦とホップブランド
限定商品など



サッポロナポリンサワー
(北海道限定)



ウメカクソーダ仕立ての
梅酒カクテル 宮崎産日向夏



キレートレモンサワー
リニューアル

今期の受賞関連



- ✓ 「グランポレール北海道バッカス辛口2016（注1）」が**日本ワイン唯一の金賞を受賞**
～ インターナショナル・ワイン・アンド・スピリッツ・コンペティション2017（IWSC）～
http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021618/index.html
(注1) 北海道地区限定販売（当社直営店やネットショップを除く、8月出荷予定）

参考資料

Appendix



- ✓ 「サッポロ ホワイトベルグ」で**最高ランク「優秀味覚賞 三ツ星」4年連続受賞!**
http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021640/index.html



- ✓ 「本格麦焼酎 和ら麦」がインターナショナル・スピリッツ・チャレンジ（注1）で**銅賞を受賞**
http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021645/index.html

(注1) インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ（ISC）
イギリスの酒類専門出版社「ドリンクス・インターナショナル」が毎年主催している酒類品評会。
50人以上のスピリッツ業界のスペシャリストたちによるブラインドテイastingが7日間にわたり行われ、
焼酎部門のほか、ウイスキー、ブランデー、ジン、ウォッカなど各部門のカテゴリーから金賞、銀賞、銅賞が選ばれます。



サッポロ生ビール黒ラベル ブランド体験の接点拡大



THE PERFECT BEER GARDEN 2017 OSAKA



THE PERFECT DAYS 2017



THE PERFECT BEER GARDEN 2017 TOKYO



参考資料

Appendix



サッポロ生ビール黒ラベル「THE PERFECT BEER GARDEN 2017 OSAKA」概要

- ・オープン期間：2017年6月20日（火）～9月24日（日）＜予定＞
- ・通常営業時間：平日17：00～22：30（L.O 22：00）／土日祝12：00～22：30（L.O 22：00）
- ・休業日：なし（雨天時も営業）
- ・運営：株式会社ニューミュンヘン
- ・協力：サッポロビール株式会社
- ・所在地：大阪府大阪市北区梅田3丁目2番4号 西梅田スクエア内
- ・URL：<http://www.sapporobeer.jp/beer/garden/index.html>
- ・座席数：最大353席

会場	エリア・開催期間
東京	パーフェクトデイズ2017東銀座イベント特設会場（東京都中央区銀座五丁目13～7）・6月30日～7月2日
仙台	レゼル西反ビル1F（青葉区一番町）・7月5日～7月9日
新潟	万代シティパーク・7月5日～7月9日
名古屋	ミッドランドスクエアアトリウム・7月5日～7月9日
京都	京都駅構内 北東交番横スペース・7月5日～7月9日
広島	紙屋町シャレオ中央広場・7月5日～7月9日
福岡	福岡市役所西側ふれあい広場・6月28日～7月2日
鹿児島	JR鹿児島中央駅アミュ広場・7月7日～7月9日

「THE PERFECT BEER GARDEN 2017 TOKYO」概要

- ・オープン期間：2017年7月13日（木）～2017年9月17日（日）＜予定＞
- ・通常営業時間：平日17：00～23：00（L.O 22：30）／土日祝12：00～22：00（L.O 21：30）
- ・休業日：なし（雨天時も営業）
- ・運営：株式会社ニュートーキー
- ・協力：サッポロビール株式会社
- ・所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目24番55号
- ・URL：<http://www.sapporobeer.jp/beer/garden/index.html>
- ・座席数：最大154席

http://www.sapporobeer.jp/news_release/search/index.php?pageID=3#results

参考資料

Appendix



【スリーマン】（「サッポロ」ブランドを除く売上数量）

✓ 前年同期比**101%**（総需要98%程度※推定）

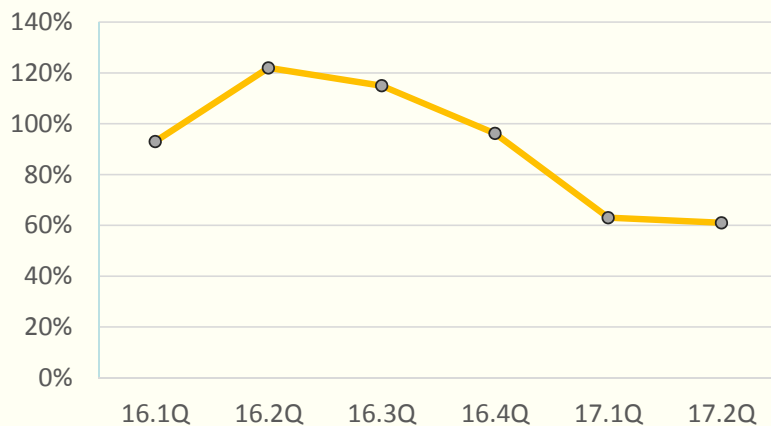
【サッポロUSA】（「サッポロ」ブランドの売上数量）

✓ 前年同期比**110%**（総需要98%程度※推定）

【ベトナム】（売上数量）

✓ 前年同期比**61%**

＜ベトナム国内 売上数量 前年同期比の推移＞

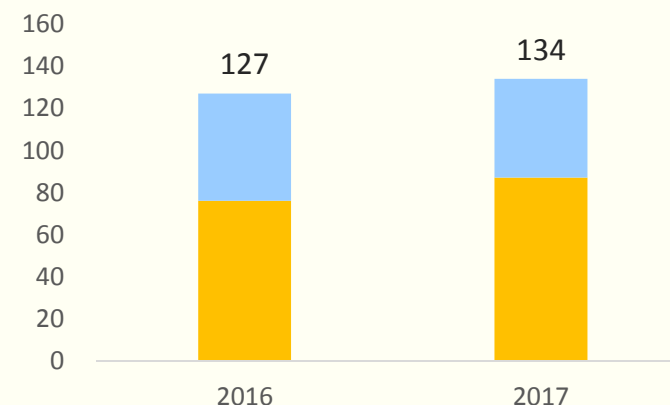


【米国飲料】（売上金額・連結消去後）

✓ 前年同期比**107%**



＜米国飲料 現地通貨建て売上高（連結消去前）＞



■ Silver Springs Citrus (US\$ millions)
 ■ Country Pure Foods (US\$ millions)

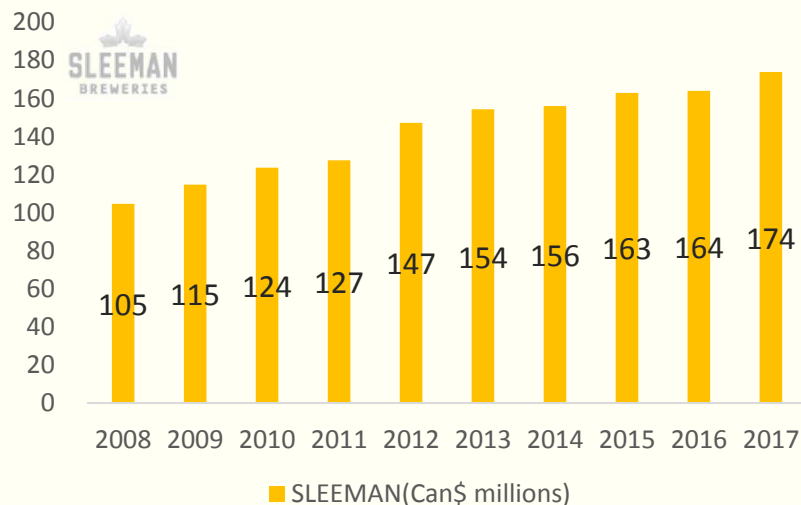


参考資料

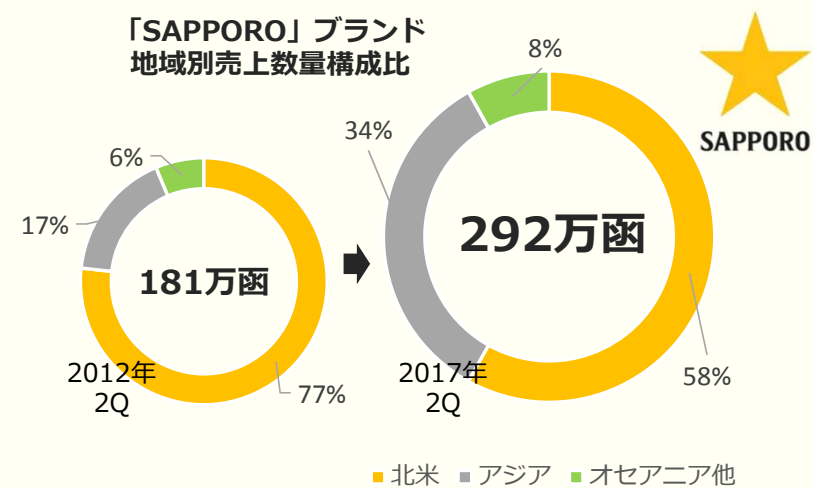
Appendix



＜スリーマン社：現地通貨建て売上高（連結消去前）の推移＞

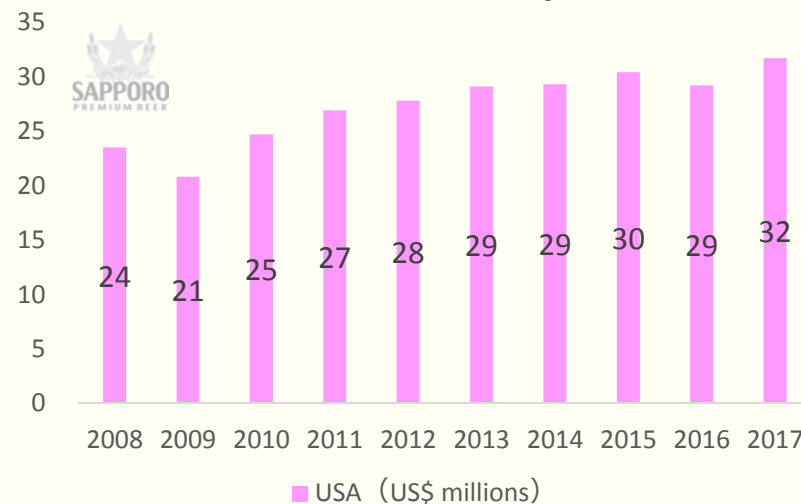


「SAPPORO」ブランド
地域別売上数量構成比

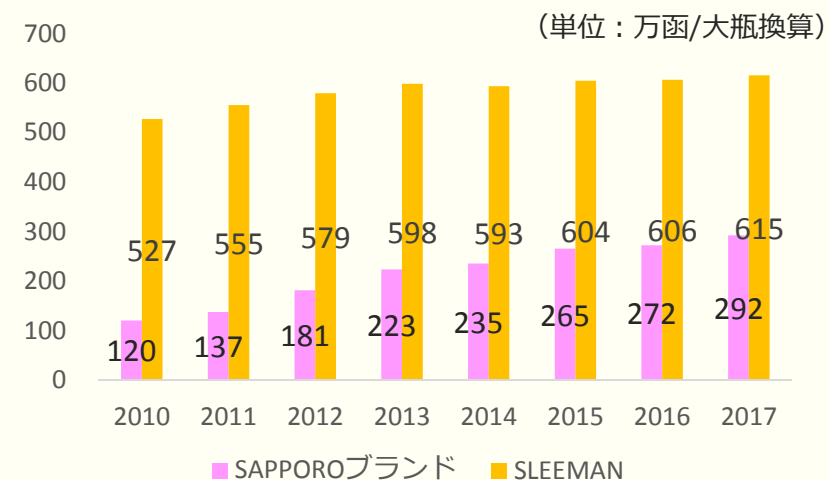


北米：カナダ、アメリカ
アジア：ベトナム、シンガポール、韓国他
オセアニア他：オーストラリア、欧州他

＜サッポロUSA社：現地通貨建て売上高（連結消去前）の推移＞



＜海外ビール売上数量の推移＞



(1~6月累計)

Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved.

【レモン飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**108%**



【スープ類】 (売上数量)

✓ 前年同期比**108%**

【レモン飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**114%**

【茶系飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**114%**

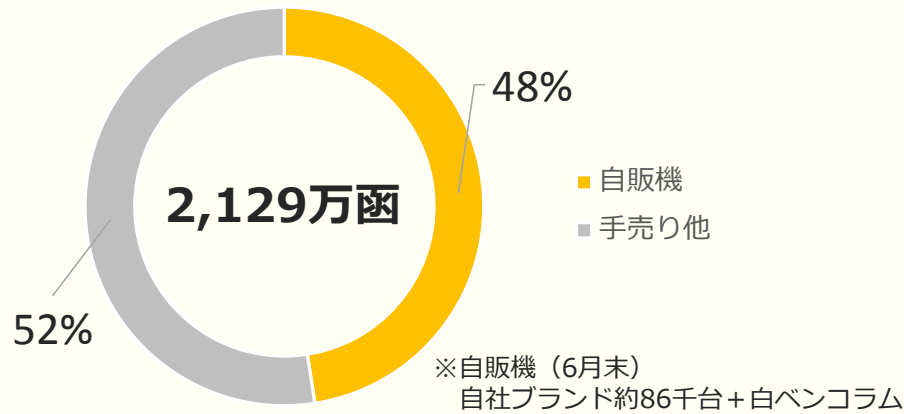
【コーヒー飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**93%**

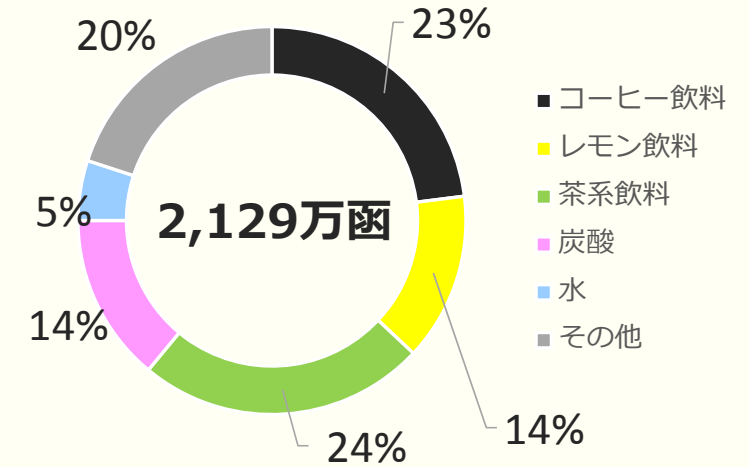
【豆乳事業】

✓ 売上高 約**10**億円

<国内食品飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
国内飲料チャネル別販売数量 構成比



<国内食品飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
国内飲料ジャンル別販売数量 構成比



(1~6月累計)

参考資料

Appendix

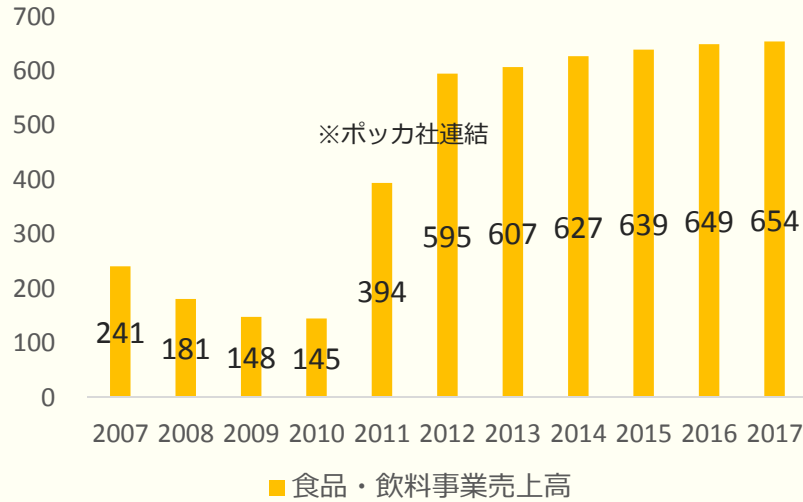


参考資料

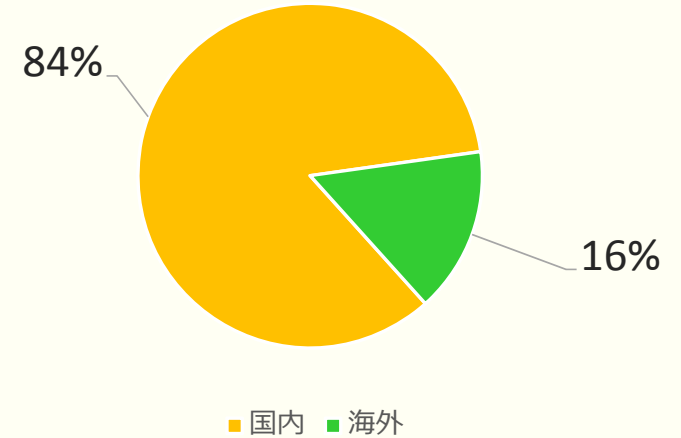
Appendix



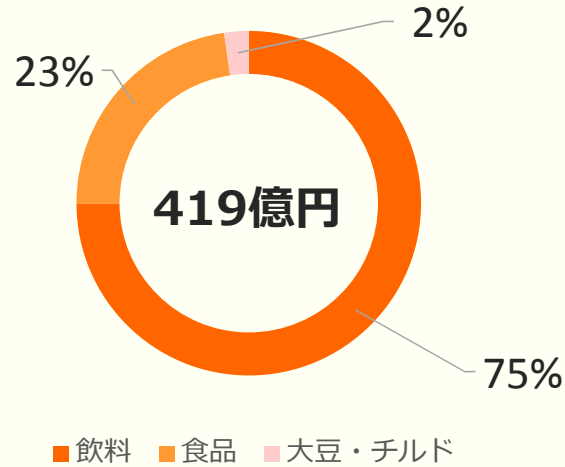
<食品・飲料事業売上高の推移（億円）>



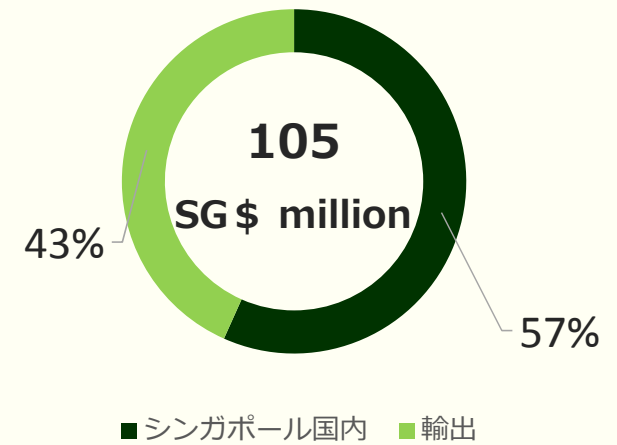
<食品・飲料事業売上高の構成比>



<国内：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
売上高構成比



<海外：ポッカコーポレーション・シンガポール>
売上高構成比（POKKAブランド）



(1~6月累計)



SAPPORO

【(株) ポッカクリエイト】

✓ 売上高**42**億円 前期比**106**%

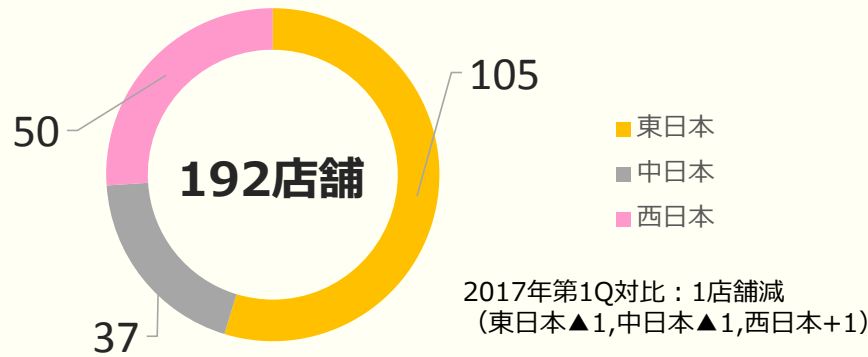


CAFÉ de CRIÉ PLUS

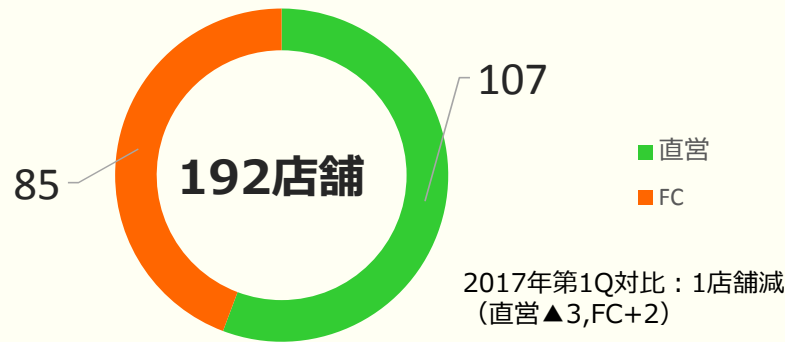
maison de VERRE



<6月末 地域別店舗数>



<6月末 直営/FC店舗数>



<新店舗&リニューアル店舗>



参考資料

Appendix





SAPPORO

<2017年4月~6月 主な発売商品>



レモンの元気
※機能性表示食品



キレートレモンスパークリング
リニューアル



ワールドレモネード
スパイスレモネード



左: Ribbon夕張メロンソーダ
右: Ribbon夕張メロンゼリー
(数量限定)



Ribbonナポリクラシック
(北海道限定)

参考資料

Appendix



pokka Sapporo



旅茶列島

ポッカサッポロと紅茶の繋がりは、旅茶列島



さっぽろ大通公園名物
焼きとうきび茶



にっぽん麦茶



富良野ラベンダーティー
リニューアル



じっくりコトコト こんがりパン
バターチキンカレー (期間限定)



がぶ飲み
白くまトロピカルフルーツソーダ



ソヤファーム 豆乳で作ったヨーグルト
リニューアル

インドネシアにおける飲料製造工場 ポッカ・ディーマ・インターナショナルの工場が稼働開始



- ✓ 稼働開始した工場では、350ml～500mlサイズのPETボトルにお茶や紅茶、果汁入り飲料などを充填できるPETボトル充填ラインを1ライン導入
- ✓ 「450mlジャスミングリーンティ」「350mlレモンブラックティ」といった茶系飲料を中心に製造



参考資料

Appendix



【新工場の概要】

- 名称：PT.POKKA DIMA INTERNATIONAL
- 所在地：Kampung Jabong I Dusun III RT.41/RW.06,
Desa Curugrendeng Kec. Jalancagak, Subang, Indonesia
- 工場長：大林 達弘（製造担当取締役）
- 従業員数：74名
- 敷地面積：6.4万m² 建物面積：3400m²（製造）／3400m²（倉庫）
- 製造品目：お茶、紅茶、果汁入りドリンクなど
- 生産能力：350ml～500mlPET=400本／分、年間500万ケース
- 総工費：2000億 Rp.（1Rp.=0.009円換算で 約18億円）

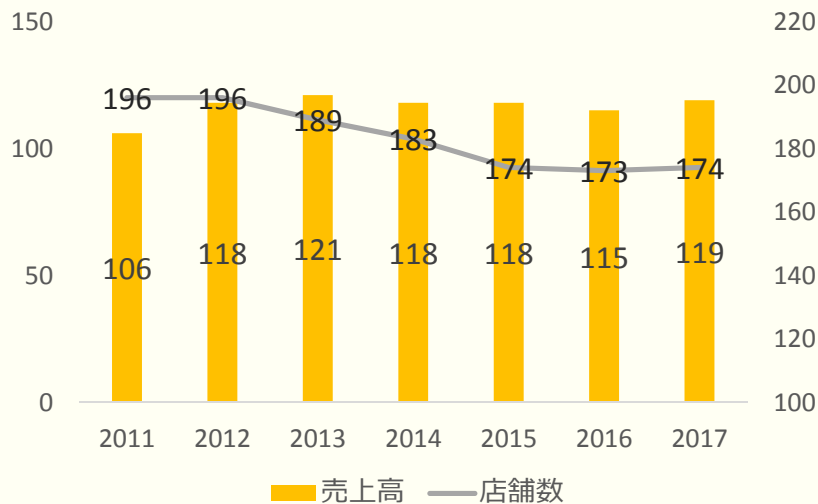
https://www.pokkasapporo-fb.jp/company/news/release/170501_01.html

参考資料

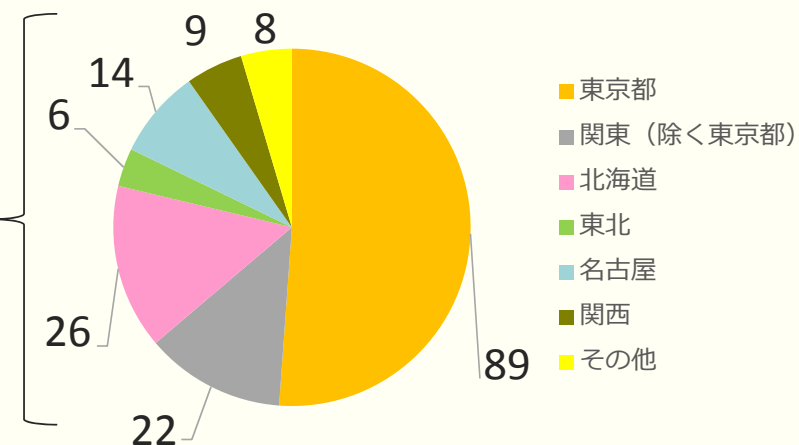
Appendix



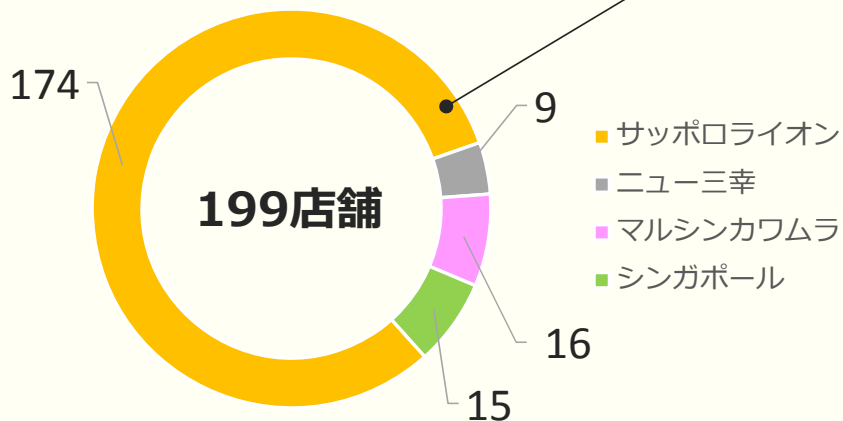
<サッポロライオン単体の店舗数と売上高の推移>



<サッポロライオン単体 店舗数地域別構成比>



<外食事業 店舗数構成比>



<主なブランド一覧>



参考資料

Appendix



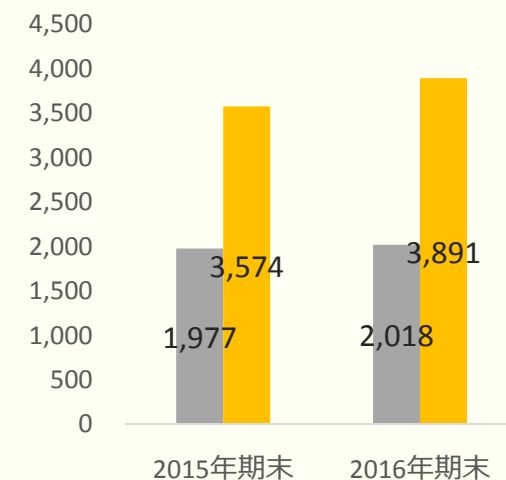
<主要物件概要・稼働率 : (1~6月平均・入居ベース) >

	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	平均 稼働率 (%)	階数
恵比寿ガーデンプレイス ⁽¹⁾	56,943	298,007	98	地下5階 地上40階建
恵比寿ファーストスクエア	2,596	16,012	100	地下1階 地上12階建
恵比寿スクエア	1,561	8,644	100	地下1階 地上7階建
銀座プレイス	645	7,350	98	地下2階 地上11階建
ストラータ銀座 ⁽²⁾	1,117	11,411	100	地下1階 地上13階建

(1) : 「階数」はオフィス棟部分のみ、「稼働率」はオフィス区画にて記載

(2) : 100%持分にて記載。当社持分は、土地922㎡(区分所有)、建物89.72%(共有持分)

<賃貸等不動産期末時価情報>



<営業利益の内訳>

	16年2Q	17年2Q	増減
恵比寿ガーデンプレイス関連	40	42	1
北海道事業	5	6	1
その他物件・事業	9	14	5
全社共通費用	▲3	▲4	▲1
合計	51	58	6

<EBITDAの内訳>

	16年2Q	17年2Q	増減
恵比寿ガーデンプレイス関連	55	56	1
北海道事業	7	9	1
その他物件・事業	12	19	6
全社共通費用	▲3	▲4	▲1
合計	72	79	7

(単位：億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 45/52

サッポロファクトリー隣地の新商業施設 「TDY札幌コラボレーションショールーム」竣工

- ✓ サッポロファクトリーに隣接する第3駐車場を再開発
2017年5月15日竣工、7月29日開業
- ✓ 周辺エリアは札幌市が進めている「さっぽろ都心まちづくり戦略」の重点エリアであり、サッポロファクトリーとの相乗効果により、生活者の利便性向上とまちの更なる賑わい創出につなげることを目指す
- ✓ リフォーム分野でアライアンスを締結しているTOTO株式会社、大建工業株式会社、YKK AP株式会社の3社が運営する施設で、全国では8店舗目、北海道では初の出店

参考資料

Appendix



http://www.sapporo-re.jp/news_release/pdf/20170515/20170515.pdf

渋谷区初の企業主導型事業所内保育所 「ポピンズナーサリースクール恵比寿 ホップキッズ」 恵比寿ガーデンプレイスに4月1日オープン

- ✓ 内閣府の子育て支援制度である「企業主導型保育事業」（※1）を活用した「コンソーシアム型」（複数企業向け）の事業所内保育所
- ✓ 株式会社ポピンズが設置・運営
- ✓ 保育所内のエデュケアプログラムでは、ポッカのレモンや、神州一味噌（大豆）を用いたオリジナルの食育を実施
- ✓ 仕事と育児を両立しやすい環境を整備することで、恵比寿ガーデンプレイスのブランド価値向上を図るとともに、渋谷区民粹を設けることで地域への貢献、待機児童対策の一助となることを期待

※1：「企業主導型保育事業」
内閣府により平成28年4月から導入された新制度で、企業が主体となって従業員のための保育施設を設置する際の整備費・運営費を助成する。



参考資料

Appendix



サッポログループの様々な取り組み

- ✓ 「SNAMサステナビリティ・インデックス」2017年も構成銘柄に選定
～サッポログループのESGに関する取り組みが評価～
※同インデックスは、同社の「SNAMサステナブル運用」に活用される。SNAMが2012年8月より運用を開始した「SNAMサステナブル運用」は、ESG（環境、社会、ガバナンス）の評価が高い企業に幅広く投資する、年金基金・機関投資家向けの責任投資プロダクト。
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020378/index.html



- ✓ 公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）は、ESG投資のために3つの株価指数を選定
サッポログループはそのうち2つの指数に採用
 - FTSE Blossom Japan Index
 - MCSI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数

- ✓ 國學院大學×サッポロホールディングス株式会社包括的な連携協定を締結
～渋谷発 地域連携協力・次世代人材育成・新価値創造などで連携事業を実施～
http://www.sapporoholdings.jp/news_release/0000020375/index.html



- ✓ 長野県とサッポロビール（株）「生物多様性保全パートナーシップ協定」締結
http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021628/index.html



潤いを創造し 豊かさに貢献する



本資料で記載している業績予測ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載されている将来見通しとは、大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。